

やってみよう！（第7号）

# チャレンジコーナー



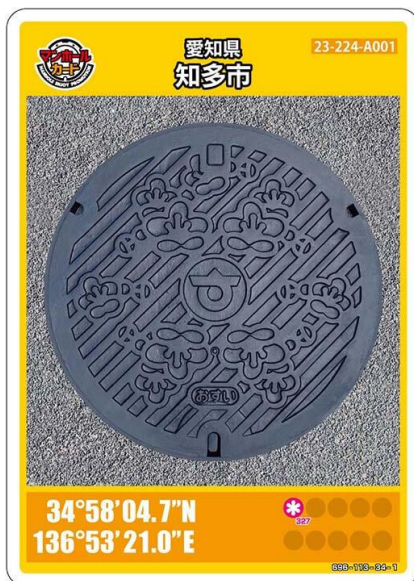
## マンホールのふたは なぜ丸い？

道を歩いていると、たまに見かけるのが、マンホールのふたです。マンホールがどんな役割を果たしているのか、マンホールの中がどうなっているのか、何のためにマンホールにふたがついているのか、知っていますか？

マンホールは、道路の飾りとして存在してはなりません。下水道の管理、点検、清掃の際に利用するため、一定の間隔で道路に設置されています。

日本のマンホールのふたは、世界的にも優れた構造をしていて、デザイン的にもユニークなものがたくさんあります。最近では、ポケモンの絵が描かれた『ポケふた』が全国で発見されています。

知多市のマンホールのふたは、このデザインが使われています。（マンホールカードより）



知多市の花である「梅」がデザインされています。梅と言えば、佐布里地区が有名で、25品種約6,000本の梅の木が植えられており、毎年美しい花を咲かせます。中でも「佐布里梅」は、知多市を代表する梅の品種であり、2019年には天然記念物として市の文化財に指定されました。伊勢湾台風等によって、一時は途絶えかけた佐布里梅でしたが、2001年の「佐布里緑と花のふれあい公園」オープンを契機に復活を目指して植樹されました。

外国では、三角形や四角形のマンホールのふたもあります。

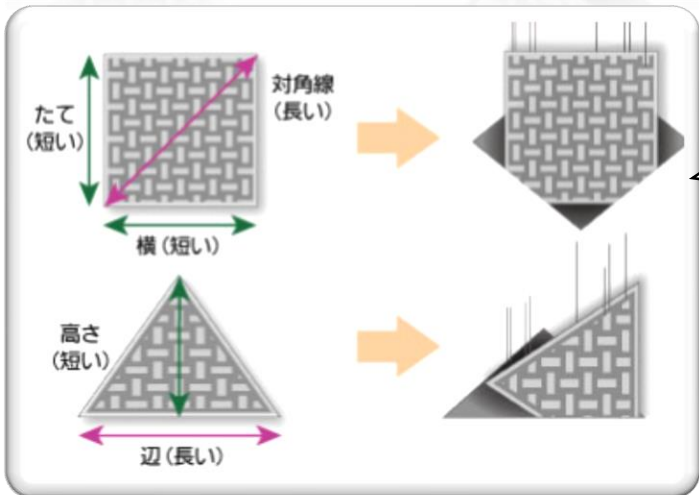


町で見かけるマンホールのふたは、丸い形をよく見かけます。

なぜ、丸いふたが多いのでしょうか？  
三角や四角ではいけないのでしょうか？



丸いふたは、どんな向きに置いても直径が変化しないため、穴の入り口に引っかかり、もし外れても中に落ちていきません。



これに対し、三角や四角のふたは、向きを変えると穴のサイズより小さくなって、中に落ちてしまう可能性があります。

他に、ふたが丸いことで、どんなよいことがあるかな？



- 1. 転がして運べる
- 2. 角がないので欠けにくい
- 3. 作りやすい
- 4. 穴の形に合わせなくてもよい

